

エコフィード（未利用資源飼料化）の重要性を考える - SDGsと食品リサイクル法 -

2025年 2月26日（水） 13:30～16:30

セミナー対象者 食品関連事業者・食品リサイクル業者・畜産農家・農業関係者・行政・学生 等

飼料価格高騰を受けて、エコフィード(未利用資源の飼料利用)が注目されていますが、その製造量は伸びていません。この取組を進めるには多方面の連携が必要であり、ノウハウやルール共有も必要です。食品リサイクル法に基づく基本方針では飼料化を優先することとされていますが、バイオガスに仕向けられる資源も多くなっています。本講習会では、課題を克服して飼料化を実践している事例報告や農水省各部署からの最新の情勢報告、そして総合討論を通して、飼料化の重要性を再確認するとともに、今後進むべき方向性を議論します。



Point エコフィードの生産・利用をご検討中の方の第一歩や
すでに取り組まれている方のさらなる拡大・効率化を目指します
質問OK双方向式セミナーです



第1部 行政最新情報

13:30～

「エコフィードをめぐる情勢

・食品リサイクル法に基づく基本方針等の見直しについて」(15分)

農林水産省 畜産局 飼料課、大臣官房新事業・食品産業部 外食・食文化課

「エコフィードの安全をめぐる情勢について」(10分)

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課

第2部 畜産事業者事例紹介

13:55～

「儲かる！エコフィード養豚経営」(20分)

広島県 株式会社福山農興 代表取締役 佐藤 拓永 氏

「阿蘇地域における

低・未利用資源を活用したエコフィード生産体制の構築」(20分)

熊本県 阿蘇周年放牧エコフィード協議会 事務局長 飛岡 久弥 氏

阿蘇周年放牧エコフィード協議会 会長 小坂 今朝和 氏

「県南・県北を結ぶ稲わらの広域流通」(20分)

岡山県 農事組合法人伍協牧場 理事 花房 尚徳 氏

ビジネスマッチング企画

同意を得られた

事業者間で

連絡先を共有(予定)

※申込時にご同意をいただけなかった方の
連絡先の共有はいたしません

※詳細は申込サイトをご覧ください

第3部 食品関連事業者事例紹介

14:55～

「食品関連事業者における飼料安全確保の取組について」(15分)

農林水産省 消費・安全局 畜水産安全管理課

第4部 未利用資源活用による効果

15:10～

「エコフィードの現状」(15分)

国立大学法人宮崎大学 名誉教授 川島 知之 氏

「エコフィードに係る環境影響評価」(15分)

東京大学 未来ビジョン研究センター特任講師 博士(農学) 石田 哲也 氏

第5部 総合討論

15:40～

「エコフィードの今後の在り方を考える

～いまさら聞けないエコフィード～」

座長 国立大学法人宮崎大学 名誉教授 川島 知之 氏

専用サイトで
申込受付中

申込〆切 2月14日

QRコード又は下記URLにて
お受けいたします

<https://form.run/@norinevent-IKEehIPHFFH3UAUftfoAj>



共催

公益社団法人中央畜産会／一般社団法人食品ロス・リポーンセンター／株式会社食環境衛生研究所

【お問合せ窓口】事務局サポート 株式会社やまとよ 担当：塚野 tsukano@ymty-event.com